

たんぽぽ

ボランティアだより

2024年 10月 NO.87
社会福祉法人
鳴沢村社会福祉協議会
TEL・FAX 85-5008
Email
shakyo@vill.narusawa.
yamanashi.jp

夏休み小学生ボランティア体験教室

夏のボランティア体験月間に合わせて8月1日、2日に『夏休み小学生ボランティア体験教室』を開催しました。



1日目前半は、関根ふじゑ先生を講師に招き手話教室、後半は加藤淳子先生による手話ダンスを楽しく学ぶ事ができました。

6年間休まず参加してくれた、渡辺なごみさんに皆勤賞、日下実怜南さん、渡辺ひかりさん、渡辺海音さんに精勤賞が贈られました。



2日目は、富士宮市にある『盲導犬の里 富士ハーネス』の施設見学に行きました。

盲導犬の一生をトータルケアする施設で、館内の展示やデモンストレーションを見る事で盲導犬の仕事や視覚障害について理解を深めることができました。

お弁当を食べた後は、芝生広場でおもいっきり遊びました。



防災ボランティア研修を行いました

《 社会福祉法人 鳴沢村社会福祉協議会 》

令和6年9月3日（火）河口湖消防署、西部出張所の協力のもと、鳴沢村総合センターにおいて、防災ボランティア研修を行いました。

研修の内容は、水消火器を使った初期消火器訓練、各家庭にあるものでできる応急担架の作成方法、三角巾の使い方、八つ折の方法からの本結び、結びの解き方を学び、後半は令和6年1月1日に発生した能登半島地震の被災地での活動を、写真などの資料を中心に講演していただきました。

緊急消防援助隊山梨県大隊第一陣に参加した西部出張所の眞田氏によると、山梨県から石川県までの道のりは到着するまでに26時間かかり、道路の被害や土砂崩れによる寸断が相次ぎ思うように進めなかったことや、天候も悪く積雪で救助活動も難航した事など現場でのリアルな話をしていただきました。

消防署の方から、日ごろからの備えや自助（自分自身や家族で備える）、共助（地域で助け合う）という地域での防災力の大切さを学びました。

▼ 水消火器訓練の様子



▲ ほうきで履くように下側から火の根本を狙います。



▲ 竿と毛布を利用した応急担架の作り方



▲ 毛布一枚で運ぶことができます。

地域の力で災害に備える

一年後、明日、今この瞬間かもしれません。時を選ばない災害に備えるために、何ができるか考え備えることが大切です。



▲ 実際に三角巾を使って利用方法を学びました。



▲ ケガの手当の方法です。



▲ 能登半島地震による被災地の写真は、現実とは思えない状況でした。(隊員の眞田氏)



災害・防災ボランティアとして登録しませんか？

鳴沢村社会福祉協議会では、災害・防災ボランティアを募集しています。いつ起こるか分からない災害の備え、平常時から災害に対する関心を持ち、災害が起きた場合の対応や支援活動、災害ボランティアセンターの立ち上げ等の活動ができる体制を整えるための防災ボランティアの協力をお願いします。

平常時の活動は、訓練等を企画した際に参加していただきます。
お気軽にお問合せください。(☎85-5008)



託児サロン

育児中のお母さんをサポートします。



少しの時間で良いから子供を預かってもらいたい! 保育所に入る前の慣らしや、受診したい! 美容院に行きたい! ゆっくり買い物したい! …etc 忙しいママをちょっとだけサポートします。お気軽にご利用ください。

★ 対 象 6か月から入園前の乳幼児

★ 日 時 毎月 第2・4 水曜日

午前9時～正午

★ 場 所 鳴沢村総合センター

2階 遊学館

★ 定 員 7名(要予約)

★ ス タ ッ フ ボランティア、社協職員

★ 持 ち 物 着替え、飲み物

おやつ、オムツ、帽子

お気に入りのオモチャ など

★ 利 用 料 100円

★お問い合わせ 鳴沢村社会福祉協議会

☎ 85-5008

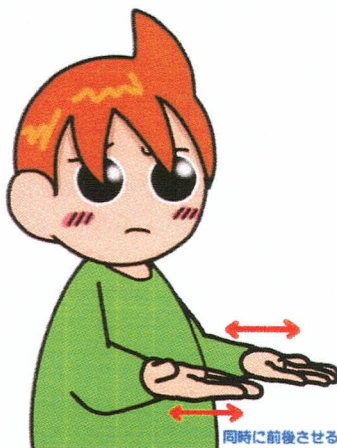
ワンポイント手話講座



手話とは・・・

手で表すことばで、目で見ることばです。

手の形や位置で、動きの方向や大きさ、顔や身体全体の表情などで意味を表現しています。耳が不自由な聴覚障害者にとって、日常生活をおくるうえで、また他の人とコミュニケーションをとるためにも、手話はとても大事な言語となっています。



【地震・揺れる】

両手の平を上に向けて、両手を同時に前後に揺らします。



【逃げる・避難する】

両手をグーにして胸の前で構えたら、素早く交互に腕を振ります。逃げる動作そのままです。